



下田めぐみ 議員

下田 道路によって町は大きく変わる。住みやすくなるし住みたいと思わせることも出来る。三潨上陽線は、全ての地区

三潨上陽線

Q

安全面や歩道の整備状況と渋滞解消について

A

毎年、道路管理者である福岡県に対し、要望活動を実施している

を結ぶ重要な道路だ。子どもたちの通学路、生活道路として広川町に住むほとんどの人が利用する。三潨上陽線の整備は、一番の課題である。整備状況について現状と今後について問う。

町長 多くの区間で歩道整備がされておらず、未改良となっている。多くの費用と時間がかかる。1区画300m完了するまで、10年単位の時間がかかる。また、朝夕の渋滞は十分認識している。国道3号広川八女バイパスを整備して現道の交通量を減少させる以外、交通渋滞を解消する方法はない。

下田 バイパス完成は、10年後20年後と言われる。整備できないのではないのか。また、国道3号広川八女バイパスができるのと、三潨上陽線は県道から町道に変わると聞いているが間違いないか。今後どうなるのか問う。

町長 バイパスができた場合、町道になると思うが、歩道の整備を完了しないと町道として受け入れられないと県に伝えている。

一般国道3号 広川八女バイパス

A

取付け道路が必要となれば要望していく。構造は、切土盛土構造

Q

取付け道路の計画はあるのか道路構造について問う

下田 道路をつくるタイミングが遅すぎる。バイパスを作るのであれば、取付け道路は何ヶ所の予定か。

町長 バイパスの性質上、何本も道を接続することはできない。追加の場合は町道になる。

下田 盛土構造の道路の場合、ほとんどその地域は過疎化していくと予想する。平面に検討できないのか。

町長 災害時の使用も目的とする道路のため、高さを確保する必要がある。

下田 取付け道路は町道になるのか。

町長 取付け道路自体は町道になる。

下田 取付け道路を作る場合、町の税金が使われることになる。このことをどう考えるか。



川瀬交差点西側渋滞状況

町長 何らかの補助事業を見つけて工事を行うことになると思う。国土交通省とよく協議して接続を考えたい。